

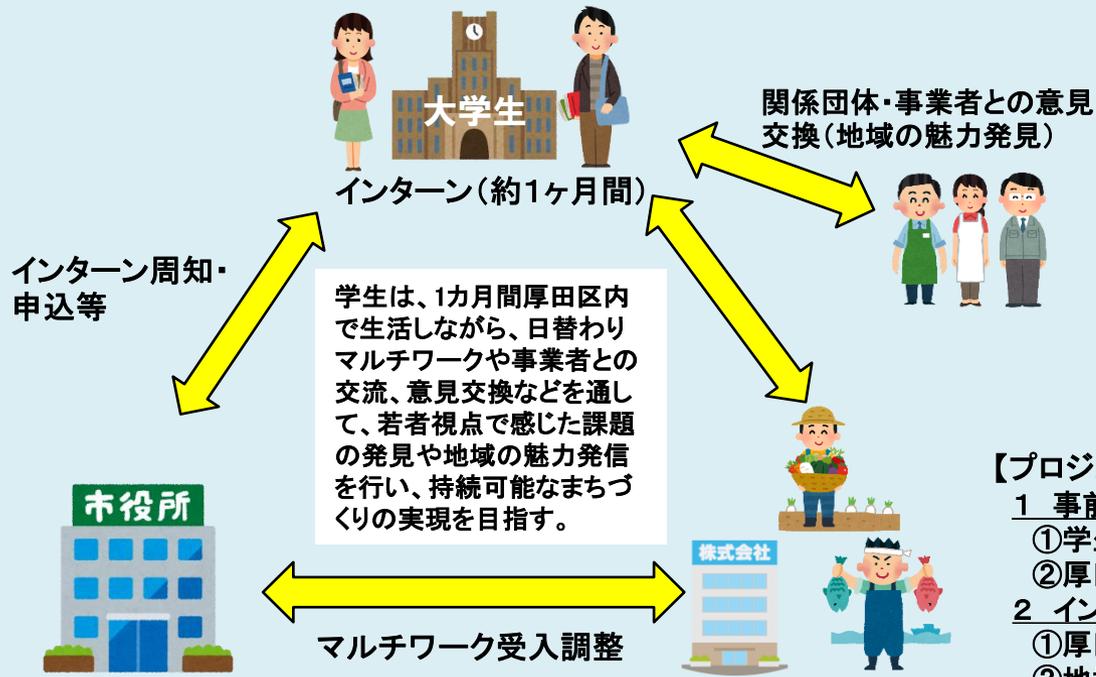


2025年度 地域実践型インターンプロジェクト

目的

北部地域における夏期の短期的な人手不足解消の手法として、観光業や一次産業等での「日替わりマルチワーク」の体験を通じた今後の実現性の検証、若者視点で感じた課題の発見及び地域の魅力発信することで、持続可能なまちづくりの実現を目指す。

施策の概要 (イメージ)



【マルチワーク(イメージ)】

	月	火	水	木	金	土	日
A	農業	漁業	休日	休日	休日	キャンプ場	キャンプ場
B	農業	休日	休日	飲食店	飲食店	海水浴	海水浴
C	休日	休日	飲食	漁業	漁業	道の駅	道の駅

【プロジェクトの流れ】

- 事前準備
 - ① 学生の公募、大学との調整
 - ② 厚田区の受入企業、滞在拠点の調整
- インターン生活動内容
 - ① 厚田区に滞在 ⇒ 地域の魅力に触れ、関係人口創出
 - ② 地域おこし協力隊、集落支援員との連携 ⇒ 学生と地域の交流・活動を促進
 - ③ マルチワーク ⇒ キャンプ場、飲食店、農業、漁業など
 - ④ 企業等への取材 ⇒ 企業・従業員・関係団体等取材し課題や魅力を発見
- インターン活動報告会

就労体験を通じた今後の実現性の検証、若者視点で感じた課題の発見及び地域の魅力発信方法の提案

【参考:想定連携大学】

道内: 藤女子大学、北海道大学、札幌市立大学など
 道外: 立教大学、大正大学、明治大学、お茶の水大学、多摩大学、静岡大学、弘前大学、同志社女子大学、桃山学院大学、和歌山大学など